

RCS

(厚生労働省方式社内コミュニケーション診断)のご案内

RCSは労務管理改善の第一ステップです。

従業員の意思を反映させた改善策を発見し、職場をいきいきさせましょう。

RCSは、産業心理学や統計学を応用した質問紙法による意識調査であり、経営方針、コミュニケーション、労働条件等に対する従業員の意識を調べます。全国データと比較することによって、あなたの会社では具体的に何が問題なのか、どの程度深刻なのかということ、科学的・客観的に把握できます。いわば、会社運営の健康診断です。

RCSの流れ

- 1 申込み** 県庁労働企画課、中小企業労働施策アドバイザー（訪問時）に
- 2 打ち合わせ** 実施日時等の決定
- 3 実施**
約30分
無記名
 - ①集 合…全員が集合できる場所で
 - ②配 布…マークシート、自由意見記入票、封筒
 - ③マーク…40問程度の簡単な質問です。
調査員が一つひとつ質問を読みあげます。
 - ④自由意見の記入…約10分間で、いっせいに終わります。
 - ⑤回 収…個別に、封筒にマークシートと自由意見記入票を入れます。
- 4 報告書作成**
(約1か月) (社)日本労務研究会が、コンピューターで集計・分析し、報告書を作成します。
- 5 報 告** 調査員が、報告書、自由意見、ヒアリング調査、ウォッチング調査を総合して報告し、改善に向けてアドバイスします。

RCSの5つの効果

- 1 問題点の指摘に納得性があります
- 2 社員の参加感を高めます
- 3 経営者の管理意欲を向上させます
- 4 経営の効率化に役立ちます
- 5 社員の不平・不満を解消します

お問い合わせ、お申し込みは、県庁労働企画課(裏面)まで